



キワタノキ

学名	Bombax ceiba
科名	パンヤ
別名	インドキワタ
区分	まちかど しょうぶつ 街角の植物
分布	インド、 ^{とうなん} 東南アジア ^{とうげんさん} 等原産

せつ
説
めい
明

はな あか だいだいいろ たにくしつ はなびら はな さ
花は赤または 橙 色 で多肉質の花弁をもち、花が咲
いてから新 緑が出てきます。この花が咲く頃は曇り空
が多いが、^{おお} だいだいいろ はな ^{そら} いろ ^は
インド、マレーシア、オーストラリア^{げんさん} 原産^{らくようこうぼく}の落葉高木で
^{たか} 高さ 10m くらいになります。

葉の形	ちようだえんけい 長橢円形
葉の縁	ぜんえん 全縁
葉の先	びじようけい 尾状形
葉の種類	たしゅつしょうじょうふくよう 多出掌 状 複葉
葉の付方	ごせい 互生
葉の基部	ぜんせんけい 漸尖形
実の種類	さくか 蒴果
花・萼色	だいだいいろ 橙 色